

平成22年度 理論政策更新研修のご案内

(敬称略)

第1回		日 時		平成22年7月3日(土) 13:00~17:00	
1	テーマ	最近の経営環境、成長政策と中小企業対策			
	時間	13:00~14:00	講師	中小企業診断士、(前(独)中小企業基盤整備機構理事) 後藤 芳一	
	近年の経営環境には、一昨年来の金融危機という短期的要因とともに、グローバル化に代表される需給構造自体の変化という、長期的要因が大きく影響しています。中小企業の経営は、こうした変化を集約する形で受けるため、その影響を緩和しつつ新しい成長を描けるよう、経済成長戦略を始め各種の施策が展開されています。それらの動きを押さえつつ、中小企業診断士の役割を考えます。				
2	テーマ	中小企業の事業承継			
	時間	14:00~15:30	講師	中小企業診断士 今瀬 勇二	
	事業承継というと、税理士や弁護士などがやるものという誤った考え方が一般的な概念として広がっていますが、事業承継を行う企業が真に必要なとしているのは中小企業診断士による事業の抜本の変革支援です。これまで自分が実績を積んできた中小企業における事業承継の多くの事例の中からいくつかを取り上げてお話しします。				
3	テーマ	ロボットを活かす市場でのベンチャーの活躍			
	時間	15:30~17:00	講師	(株)イクスリサーチ代表取締役 山崎 文敬	
	近年注目を集めているサービスロボット業界は、未だ市場が確立していない研究開発段階の分野であるが故に、金融危機による景気後退の影響を受けています。その中で、ロボットにしか出来ない分野を探し当て、その分野でベンチャー企業がどのようなアプローチで差別化を図りながら市場を創出していこうとしているかについて述べたいと思います。				

第2回		日 時		平成22年7月31日(土) 13:00~17:00	
1	テーマ	中小企業の事業承継			
	時間	13:00~14:00	講師	ジュピター・コンサルティング株式会社 代表取締役 大山 雅己	
	我が国の中小企業の事業承継問題へ取り組みは、ここ数年、中小企業庁を中心に、各方面の実務家・専門家の方々の議論を経て、従来とは全く様変わりの様相を見せており、「法律面」・「税務面」・「施策面」等について具体的な取り組みについて説明します。				
2	テーマ	地域ものづくり活性化支援 ~産学官金連携コーディネートの実践から			
	時間	14:00~15:30	講師	首都圏産業活性化協会事務局長 岡崎 英人	
	世界同時不況下において、今後の日本のものづくりは大きな転換期を迎えている。良いものが売れる時代ではなく、売れたものが良いものといわれる時代。このような時代だからこそ、産学官金の連携で自社の強みを強化することは有効な手段となる。それを実現するため、地域ものづくり企業支援のための実践的なコーディネートの方法やコーディネータ活動のありかたを学ぶ。				
3	テーマ	飲食店の再生を現場の視点から考える			
	時間	15:30~17:00	講師	(有)セカンドティスト代表取締役 後藤 幸子	
	講師が実際に経験した飲食店再生の現場事情をお話ししながら、再生によって新たな顧客サービス(付加価値)を生み出すためのポイントがどこにあるのかを検討する。①通常営業の中での再生は、取捨選択により強みを伸ばし「わかりやすさ」を遡及する②リニューアルオープンの場合は、内・外装、メニュー、料理人を変えて「新しさ」を打ち出す③居抜き店舗を利用した再生プランの場合は、視点を変えて「意外性」をアピールする。				

第3回		日 時		平成22年9月18日(土) 13:00~17:00	
1	テーマ	地域活性化と中小企業施策			
	時間	13:00~14:00	講師	(株)うぶすな代表取締役 吉井 靖	
	<p>低迷する経済環境の中、地域発ビジネスを離陸させるにはどうすべきか?「地域を元気にしたい」という想いを現実化させるにはどうすべきか?地域活性化伝道師、地域活性化支援アドバイザーである講師が、中央省庁の助成金・補助金を地域活性化に取り込み、地域発ビジネスにいかに関与させていくかを、実践事例とともに紹介します。</p>				
2	テーマ	事業承継と固有技術・環境技術の伝承			
	時間	14:00~15:30	講師	日本電鍍工業(株)代表取締役 伊藤 麻美	
	<p>創業者の急逝とともに直面した倒産の危機。事業承継の難しさ、厳しさ、更には事前準備の重要さ身をもって体験しながら10年が経ちました。全世界的な経済不況、アジア勢の急成長、環境問題など更なる課題を持ちながら成長し続ける企業である為にはどうすべきか。人材育成や技術伝承などをコアテーマに掲げ“Earth Friendly”という経営理念をしっかりと根付かせて行くことにより更なる発展を目指します。</p>				
3	テーマ	産学連携で味のデファクトスタンダード化			
	時間	15:30~17:00	講師	株式会社インテリジェントセンサーテクノロジー代表取締役 池崎 秀和	
	<p>九州大学都甲研究室とともに開発した人間の舌を模倣する人工脂質膜を味覚センサーとして利用する、味の数値化技術を提案する企業です。「味のものさし」の世界標準を目指し、世界の味の文化に貢献して参ります。九州大学はもとより、多くの公共の研究機関との共同研究の成果であり、その開発の歴史を説明します。また、経営上で失敗の貴重な体験をご紹介します。どのようにして会社の理念を作ったかを説明いたします。</p>				

第4回		日 時		平成22年10月2日(土) 13:00~17:00	
1	テーマ	中小企業支援の取組			
	時間	13:00~14:00	講師	(財)神奈川産業振興センター 事業化支援部 事業評価・コーディネート課長 小坂橋 美絵子	
	<p>(財)神奈川産業振興センター(KIP)は、「中小企業支援法」に基づき知事から「神奈川県中小企業支援センター」として指定された神奈川の総合的な産業振興拠点です。県内中小企業の様々な経営課題に対応するために、中小企業診断士などの専門家の協力をいただきながら、経営安定や創業支援、販路開拓支援などの事業を実施しています。こうしたKIPの概要や取組内容などについて紹介します。</p>				
2	テーマ	中小企業の資金調達と再生支援			
	時間	14:00~15:30	講師	企業再建・承継コンサルタント協同組合 鈴木 隆雄	
	<p>まず資金調達先の目線・考え方をご理解いただく意味で、最近の金融機関の種類とその動向をお話した上で、銀行融資の仕組みと流れについてお話します。そしてその融資判断や、事業再生スキーム等の受入れ可否を判断する全ての土台となっている金融検査マニュアルと債務者区分・債務者格付についてご理解をいただいた上で、銀行が求める事業計画の着眼点と着地点、そしてその実行支援ならびにモニタリングにおける留意点についてお話します。</p>				
3	テーマ	ゼロステージ世代への創業支援			
	時間	15:30~17:00	講師	中小企業診断士 南部 裕史	
	<p>漠然と創業を希望しているが起業準備段階に入れない若年層が、「自己の糧を得る仕事を自ら創出する(自己雇用)こと」を目的とした創業を実現するために必要な支援をとりあげます。本講義では、創業を検討している若年層並びに、開業を果たし事業化に成功した経営層へのインタビューを通じて、若年層の開業率を高めるため、中小企業診断士が果たすべき役割を掘り下げて説明させていただきます。</p>				

第5回		日 時	平成22年10月30日(土) 13:00~17:00	
1	テーマ	中小企業の事業承継		
	時間	13:00~14:00	講師	ジュピター・コンサルティング株式会社 代表取締役 大山 雅己
	我が国の中小企業の事業承継問題へ取り組みは、ここ数年、中小企業庁を中心に、各方面の実務家・専門家の方々の議論を経て、従来とは全く様変わりの様相を見せており、「法律面」・「税務面」・「施策面」等について具体的な取り組みについて説明します。			
2	テーマ	中小企業の経営革新		
	時間	14:00~15:30	講師	昭和精工株式会社 代表取締役 木田 哲朗
	創業以来、自社のコア技術を活かし、主要製品の横展開や新製品開発に積極的に取り組んできた。この間、自社を取り巻く経営環境は、おおきく変化した。これに対応するために、自社の強みと弱みを把握し、外部機関との協力・連携を行い、行政の支援施策も活用して経営革新を継続的に推進している。			
3	テーマ	中小製造業の生き残り戦略		
	時間	15:30~17:00	講師	堀越精機(株)代表取締役 堀越 秀昭
	弊社はリーマンショック以降、主力の得意先からの売り上げが1/100以下になりました。しかし、2010年3月期の決算は黒字になりそうです。これは、戦略があったから出来たことだと自負しています。そこで最近行ったいくつかの戦略のうち営業戦略、財務戦略、顧客満足戦略の3つの事例を紹介したいと思います。			

第6回		日 時	平成23年1月15日(土) 9:00~13:00	
1	テーマ	新しい中小企業施策(仮)		
	時間	09:00~10:00	講師	8末までに決定(下注参照)
2	テーマ	中小企業の経営革新(仮)		
	時間	10:00~11:30	講師	8末までに決定
3	テーマ	中小製造業の経営戦略(仮)		
	時間	11:30~13:00	講師	8末までに決定

注記：：第6回の日時・場所は決定しておりますが、内容については詳細が決定した時点で、支部HPの本「ご案内書」および本部HPの「研修申込状況照会」に掲載します。なお、時間が午前中であることにご注意ください。